



【学校教育目標】自分の可能性を信じ、新しい時代を心豊かで明るく、たくましく生きる生徒の育成

【キーワード】考え方動く・・・『考動』

文責：渢口

能登半島地震の発災以降、生徒の安心・安全を考えつつ、環境を復旧させながら毎日の教育活動を進め、2024年の2学期が終わります。この間、生徒の皆さんの素晴らしい頑張る姿を見ることができ、感動した日もありました。2024年は「甲辰（きのえたつ）」で、「甲」には草木の成長を表す意味があり、植物が成長するように勢いを増して増えていくという意味があることから、これまで努力してきたことが、実を結んで成就する年になるといわれていましたが、皆さんはとうでしたか、どんな1年でしたか。

☆自分はどのくらい『進化』したか☆

冬休み中に、今の自分自身をゆっくり振り返ってみましょう。4月にイメージした自分の姿に近づいていますか。新しいことに挑戦すること「新化」、自分の長所を伸ばすこと「伸化」、得意なことをさらに追究すること「深化」について頑張り、自分自身はどのくらいの成長がありましたか。4月にイメージした姿と今の姿のギャップが、これから頑張ることの目安になります。3学期に向け、良いスタートを切るためにも、振り返りを丁寧にしてみませんか。

ここで大切なのは、今現在の自分自身をどれだけ冷静に振り返ることができるかです。経営やビジネスで「ゆでガエル理論」というものがあります。ガエルは急に熱湯へ投げ込まれると飛び出しが、ゆっくり熱せられると危機的状況に気付けず茹で上がっててしまうという意味の寓話です。皆さんの今の状況は、自分で好きな時に好きなだけという居心地の良いぬるま湯のような状態になってしまいませんか、その状況に慣れきっていませんか。その状態で振り返っても意味はありません。4月の時の気持ちを思い出して振り返り、3学期に頑張ることを決めましょう。冬休み中から取組をスタートさせても良いと思います。



☆より一層地域に応援される『中島中』に☆



先日、長野県須坂市中島町でリンゴ農家を営む 富澤 正 さんが、能登半島地震の支援物資として多くのリンゴを中島地域づくり協議会へ届けてくださいました。富澤さんは、毎年元旦に全国の半島を巡り初日の出を見ることを楽しみとしており、今年も能登半島を目指しました。そして帰宅後、能登半島地震が発生しました。富澤さんは、支援のリンゴを届けることを思い立ち、届け先に能登半島の地図の中から同じ中島町を見つけ、自ら車を運転して中島地域づくり協議会へ運んでくださいました。中島地域づくり協議会では、中島の未来を担う子どもたちに食べてもらおうと、中学校へも配布があり、生徒会長が代表で受け取り、生徒は一人2個ずつ持ち帰りました。配る時の生徒のうれしそうな顔、後日おいしかったと伝えてくれる感想に、元気を与えられたかなあという思いと、改めて地域に期待され、応援されている子どもたちなのだということを実感しました。

本当に、ありがとうございました。

□保護者の皆様へ□

1 全国PTA連合会からの義援金 について

能登半島地震に際し、全国PTA連合会より石川県PTA連合会へ義援金が届けられ、県PT連は被災した地域のPTA連合会に配分することに決めたそうです。それを受け、七尾市PTA連合会は児童生徒数により、次の内容で各単PTAに義援金の配分がありました。

市PT連からの内容 □児童生徒のために使うこと

□できれば年度内に使い切ること

□中島中配当分 約36万円

そこで、本校PTAでは、会長さん及び役員の方が相談し、生徒が毎日、気持ちよく授業を受けることができるよう、教室の生徒机の天板を抗菌性の天板に取り替えることにしました。天板の取替は職員が作業します。特に受験を控える3年教室から進め、3学期から使用可能にします。

PTA会員の皆様、ご理解の程、よろしくお願いします。

2 令和7年度県立学校入学検定手数料 について（3年生対象）

前号の「なかじま Mind」（学校だより第9号）にてお知らせしましたように、能登半島地震で被災した生徒について、令和7年度県立学校入学検定の入学検定料（2,200円）が免除される場合があります。免除対象について、詳細をお知りになりたい方は、各学級担任まで問い合わせてください。

※既に関係書類を提出された方は、手続き完了です。

3 後期 学校教育アンケート（保護者アンケート）について

後期における保護者アンケートにご協力いただきまして、誠にありがとうございました。

集計結果について、数値に関するものはこの後本校HPにてお知らせする予定です。

自由記述について、本校としての回答も含めて紹介します。

・我が子の様子から、子どもを大切にしていることが伝わってきます。

先生方の声かけに感謝しています。

・担任の先生が一生懸命指導してくれるので本当にありがとうございます。

我が子にそんな先生の気持ちに応えられるような人間になってほしいです。

・家庭訪問等での先生方の温かい見守りに感謝しています。

⇒ 本校では、生徒数が少ないので、一人一人を見取ることができます。また、ほぼ全教職員が全年つまり、全校生徒の授業等を担当しています。そこで、気になる生徒だけでなく全生徒の様子について、全職員で共通理解し、生徒が少しでも自身の成長を感じることができますように願い、役割分担をしながら生徒と接するようにしています。また、家庭と学校が連携しながら教育活動を推進できるように、家庭訪問等で保護者の方と話す機会を大切にしています。これらの本校の取組に対し、保護者の方々からの温かい評価をいただき、感謝します。

・給食費が助成されるようになってから、おかげの量が小学生と同じ量になったのではないか。

成長過程ですのでもう少し考えてほしい。

⇒ 給食の量については、従前と変化はありません。物価高騰のため、デザートの回数が微妙に減ったかもしれません、小学生と中学生の設定された基準量があるので、それを厳守しています。

本校生徒の完食率は高く、おかげも男女関係なくしている光景をよく見かけます。これまでの経験から、よく食べる生徒は大切な時の踏ん張りがきくと思います。受験を控えた3年生は特に、風邪等を吹き飛ばす元気な体で頑張ってほしいと思います。

4 学校閉庁中の緊急連絡 について

12月25日から1月7日までの冬休み期間中の連絡については、平日は学校にお知らせください。ただし、週休日および年末年始の期間は、学校の電話はつながりません。下記の通り、ご協力ください。

◇急ぎでない場合：1月8日の始業式の日に直接連絡するか、欠席フォームに入力する

◇緊急の場合：七尾市教育委員会（53-5090）へ連絡する

※市役所宿直室につながった場合、連絡先を伝えると折り返し連絡があります

□『栄光の記録』□

【令和6年度全国中学生人権作文コンテスト七尾人権擁護委員協議会審査】

支局長・会長賞	2年	谷口 璃子
奨励賞	1年	瀬戸 遥香
	3年	荒木 凉希

【令和6年度「人権擁護に関する標語】】

優秀賞	2年	山本 凪紗
-----	----	-------

【令和6年度「男女共同参画社会づくりに関する標語】】

優秀賞	1年	谷口 なる花
-----	----	--------

【令和6年度「市民のねがい」子ども絵画コンクール】

佳作	1年	森村 晴真
----	----	-------



「なかじま Mind」（学校だより）は、生徒、保護者、そして地域の方々に本校の取組等を伝え、生徒の活動の様子は本校HP上で伝えています。今後は、HP上に掲載しているおたよりはコミセン等にお越しの際、ご覧いただけるように、学校玄関前に掲示します。

Let's call..オアシスライン

～親と子のなんでも電話相談室～

TEL 0767-52-0783

受付時間：13:00～16:00(月曜～金曜)

相談内容：悩んでいること、困っていること

*匿名でのお電話で構いません。秘密は守ります。

～オアシスライン担当～

